

委員会だより

<9月6日(日) 13名出席>

【1】財務報告：98年7、8月度決算報告(甲斐さん)
 ◆特記事項：8月単月収支は、+93,475円と黒字となっているが、これは下記特別献金が入った為：神父様約33万円、大原様5万円、鈴木様5万円。

【2】議題：

(1) 敬老会について：

- ◆今年度対象者は、49名。そのうちご夫婦揃って対象となる方々は6組あり。
- ◆8月の最初の週に、葉書で招待状発送済み。
- ◆費用は、合計13万円以内で済みそうである。司会進行は、井上さん/平瀬さんをお願いする。

(2) 宣教委員活動報告(町田さん)：

- ◆「環境を考える会」の設立：中和田教会は、壮年会：七浦、宮崎、富田さん、婦人会：町田、石井、江尻さんが参加。月1回のペースで会合。
- ◆湘南短期キリスト教セミナー準備状況：講師、日程、場所等が決まった。(3頁参照)
- ◆分担金の件は、七浦さん欠席の為次回委員会へ。

(3) バザー準備報告(バザー委員会9月5日開催：福島さん)

- ◆チラシ配布の取り止め：最近の飲食物の事件を考え、近隣への呼び掛けはしない。
- ◆販売食数と販売単価：

- ◆婦人会牛どん 100個 300円
- ◆婦人会フランクフルト 80本 150円
- ◆婦人会和菓子 150個 150円
- ◆婦人会ケーキ 150個 150円
- ◆壮年会やきとり 500本 300円(5本)
- ◆壮年会やきそば 100食 300円
- ◆依託販売品は、クッキー、うどん、赤飯、お茶、椎茸、花、身障者施設製作品、パングラディッシュ雑貨
- ◆抽選券商品：特等から6等まで、合計65,000円分。
- ◆抽選券販売は9月27日(5枚一組で1,000円、250組)、印刷は、9月26日に委員が行う。食券販売は10月4日。
- ◆青年会の応援は返事待ち(小野寺さんフォロー)

(4) 青少年を考える会(8月16日開催、小野寺さん)：

- ◆森脇さんに、色々ご協力を頂けることになった。
- ◆鈴木さん(転出)の後任に、甲斐さんが入られた。

(5) 下記に参加、協力された方々ご苦労様でした。

- ◆戸塚教会献堂式 ◆藤沢教会にて司教様送別会
- ◆大原家ご葬儀にお手伝いされた方々
- ◆第9回卓球大会に参加された方々

(6) 聖堂の下足化の件の議論：再度、壮年会、婦人会で議論する(限定期間試行で問題があるか否か)

(7) 9月20日9時のミサ：カプチン会のペトロ神父様

壮年会だより

<9月20日(日) 11名出席>

1. 財務報告(甲斐さん)
2. 敬老会(9月13日)：出席者 29名、費用約13万円。
3. 宣教委員会(町田さん)
 - ◆「環境を考える会」の設立：第1回会合(9月10日)で問題点の洗い出し(以後、月1回の会合)
4. バザー委員会について
 - ◆近隣へのチラシ配布及び一部食品販売の取り止め

- ◆食材等の買い出し…10月24日午前8時から
- 5. 聖堂及び教会施設内の下足化
 - ◆年内試行(10月～12月)…但し、下足用に作られていない新集会室、幼児室、台所、食堂、トイレ等はスリッパ、下駄に履き換える。
 - ◆このほか下足化に際しては、教会前庭の全面舗装化、掃除機の購入、年2回程度の専門業者による大掃除等が必要、スリッパ購入の予算が無ければ各自で購入してはとの諸意見あり。
- 6. ミサ朗読：予め朗読者を決めておかないで、各日曜日に、その都度お願いしたい(萩原さん)

婦人会だより

<9月20日(日) 37名出席>

- ◆委員会報告
- ◆バザーについて
 - ◎今年市販のマドレーヌを使用します。フルーツケーキの1本売りも予定しています。
 - ◎値段つけのお手伝い：10月1日、15日 10:00～15:00
 - ◎バザー当日のお手伝い
 - ◆10月25日(日) 8:00～。尚前日10月24日(土)については第4のお掃除当番の方と役員で行います。バザー当日は8時からお手伝いをお願いしたいのであるべく前日(土)16時の御ミサに授かって下さい。
 - ◆当日のお手伝い表を掲示板に貼っておきますので御協力をお願いします。
 - ◆紅茶・砂糖・緑茶・紙袋の御寄付をお願いします。
- ◆その他
 - ◆大原さん(D地区)の御主人の葬儀のお手伝いのお礼がありました。
 - ◆福井さん(B地区)の御出産のお祝いをお渡ししました。
 - ◆島倉さん、岩永さん(D地区)が転居されました。
 - ◆コンサートの誘いがありました。
 - ◆会報に載せる為の原稿をお願いします。

次回例会は10月18日(日)、次回当番はB地区です。

お知らせ

結婚

9月19日(土) 於 雪の下教会
 細野 貴之 ヨゼフィーナ 小山 みゆき
 〒234-0054 横浜市港南区港南台 9-24-9-201
 TEL (045)831-1580

7月28日(日) 於 中和田教会
 知念 一男 渡辺 里美
 藤沢市湘南台6-31-9 ロイヤル・コスモス102
 TEL (0466)45-0706

転居

岩永さん 戸塚区上矢部町1745-32
 TEL (045)811-8288
 島倉さん 座間市西栗原一丁目
 レックスガーデンピラ110号室
 TEL (0462)55-1580

今月の予定

委員会	10月 4日
世界宣教の日	10月 18日
バザー	10月 25日
サロン	10月 11日
レジオ	10月 9,16,23日



第240回

中和田カトリック教会
 広報委員会発行
 泉区中田北1丁目9-1
 Tel. (045) 803-6141
 1998年10月4日



金沢さんとの出会い

山崎 正俊



司祭に叙階されて、四十一年目も終わり頃になろうとしている。そのはじめのときに聞きおぼえた名の御本人に、やっとの思いで会えそうになったその喜びは一瞬の間。——何も話せなかった。たしかに来ておられるはずだとは感じているのだけれども、あまりにも広く、見馴れないところになっていたし、記憶しているところとは違いすぎる風景で、勝手に動くこともできない。ゆっくりと見渡すだけでは、それらしい影さえない。東木神父の名刺と、その日本人ばなれした様子とは、なんとも結びつかないのに、この人について行くしかなかった。聖堂までは行けても、これがあのイグナチオ教会なのかと、肝もつぶれそうになっただけのことで、何をどうしたものかとまごまごしているところに、白柳大司教様が入って来られる。「あ、山崎神父さん」と、声かけられるのも思いがけなく、八王子出身の顔見知り、神学校時代の親切な大恩人。それでも、当然のこと、それ以上の会話は遠慮しなければならぬだろう。——四ッ谷駅でさえ、はじめの、薄暗いトンネルのようなところを、エスカレーターで移動させられるのだから、どちらに向けばよいのやら、見当もつけない。駅員さんに上智大学の行方をたしかめていたのに、その入口が見当たらず、迷路のなかを右往左往しているうちに、持っていた祭服を着ることになって、「ミサは白でします」という声に動かされ、白のストラを借りねばならないということに、気がつかされるような始末。

適当に行列を組み、祭壇の前で、私が鹿島田教会で写した、あの今田神父様の写真が飾られてあるのをちらと見て、十六年忌のミサに奉仕することになる。——当てにしていた。与が何処におられるのかは、わからない。あまりキョロキョロするのも気がひける。それでも、探しておかねばならない。信者席のほうに視線をさまよわせても、あまりにも広すぎ、百人をこえるほどの薄モヤにかすんだ顔など、たしかめるには明かりが弱く、ムダなあがき。

ミサがすむと、祭壇のまわりに参会者全員が集まっての記念写真。それまでは、小さな顔写真と社会党で出していた週刊誌で想像していただけた、「心の灯」の金沢さんに、たしかに出会えた。電話で聞いたことのある声。車椅子に乘せられて、意外に小柄など見えるほかには、どこもどうというところのない、まだ、しっかりしておられる。私と相異しているのは、「ウワバミです」と自認しておられるところ。ああ、よくもこの年齢になりながら、その初志をつらぬいておられるガンコさ。いくらかの協力者にとり囲まれ。これは立派で、スゴイこと。——私が年齢のわりに、時間の長さがわからなくなっているのは、好きでそうになっているのではない。ハタ迷惑でも、ガマンのほどを願いつづけているのは、可愛ゆいではないか。

持参したカメラで写したり、写されたりするのは、よい記念を残せたと思う。そのしあがり意外とよいのも、生涯の有り方としてお選びになった姿勢のせいです。それを余計なこととして、煙ったがったり、非難の声をあげたりするなど、よくあることですが、とんでもない仕打ちですよ。それでも、イエズスさまに従いたいと願っている私には、嬉しいひと時。これからの余生への応援歌です。

(一九九八年九月九日 記)



自然とともに

S. T.

最近のこと、車の一台も止められていない中和田教会の庭をゆっくりと観る機会があった。門のすぐ右の植え込みの下から清らかな"アフリカすみれ"が、左の方からはうちわを立てたような"ほうき草"が私にほほ笑みかけてくれた。マリア様の花壇にはピンクのペコニアと紫サルビアとつぼみをたくさんつけたマリーゴールドなどが仲良く話し合っている。正面には、"きんめつげ"の青垣がきれいに刈りそろえられ、その手前に"たますだれ"の純白の花が咲き、多くの草花が互いに引き立てあって育っている。青垣の右端には一本の柿の木が幹と枝を高く伸ばし、たわわに実をつけている。その実のあるものはもう色づきはじめ、実りの秋を告げている.....

初秋の青空の広がる教会の庭でのさわやかな一時であった。「庭の会」の人たちが中心となってこの花園を作ってくださっているのだと思うと、感謝の心がじわりと私の胸に広がった。土のにおい、草花のあまい香り、ほのぼのとした自然のやさしさ、それを守り育ててくださる会の人たちの和。とても尊いもののように思えた。



草花と土の香りに包まれて、 人の幸せここにもありや

私たち日本人は、古来、自然をととても大切に生きてきた。その恵みを存分に受けるとともにその厳しさに耐え、工夫を重ねてきた。日々の生活も自然と共にあり、自然は命の一部でもあった。ことあるごとに自然に感謝をし、祈りをささげていた。子どもたちは土、水、虫や動物と遊び、野や川や海の幸にあずかり、家族や近隣の仲間に支えられ、健康的でたくましい生活があった。長野県の山深い村に生まれた私は、少年時代(今から約40年前)、この古き良き時代を十分に味わうことができた。食べるもの着るものに事欠く貧困の中で、自分の足と手を使い、自然の物を材料に遊び、生活を工夫した。親や先輩から食欲に学ぶことも多かった。自分に与えられたものは、小さなナイフ、切れないのこぎり、金槌、それに少しばかりの釘と針金ぐらいたったが、山の木を切ってきて、こまを作ったり回したり、そりを作ったり滑ったり、板切れを集めてきてうさぎ小屋を作ったりした。春は野に出て摘み草をし、夏は川に行き泳いだり魚取りをし、秋は山に入って栗拾いやきのこがりをしたり、はじけるように熟れた山ぶどうの実をほうばったりした。冬は手の甲や耳たぶをしもやけだらけにしながらも氷や雪と夢中で遊んだ。窮乏し、飢え渴いていた時代ではあったが、そこには意欲的でたくましい生活があったのである。

その後お変わりありませんか。この度こちらへまいります時には、お餞別をいただき有難うございました。三週間が過ぎ、家の中もなつかしき落ち着きました。大阪は暑いと覚悟して来ましたが、ここ千里は丘陵のため風の通りがよく、思っていたより涼しくほっとしています。毎日地固で行きたい所を探す生活で、すっかり日焼けをしてしまいました。いくつかの教会を訪れ、家の近くからバスで行ける豊中教会に所属する事に致しました。この教会は六十年前前に建てられた木造の白壁の建物で、お聖堂の天井が高く左右に檜の柱が立ち、古いながらもしつかりとした感じが致します。九時のミサは二百名程の人でお聖堂はいっぱいで、若い人の姿も多いように見えました。こちら十月にはバザーが行われるようです。中和田でも八月には卓球大会、秋にはバザーとお忙しくなる事と思います。皆様のご協力ですぐに行事を終える事が出来ますようにとお祈りしております。こちらへおいでになる機会がございましたら、ぜひお声をかけて下さいませ。暑さの折、お体を大切に。遠々ながらお礼まで

七月二十八日
かしこ
鈴木矩子
婦人会の皆様へ

第7回横浜教区宣教司牧評議会報告 '98.5.23-24

(これからの10年を見据えて) 宣教委員 七浦 鑑吉

- 優先課題「信徒の養成」について
 - 信徒一人一人が、信仰共同体の一員として目覚める為に、色々な奉仕活動に参加することで信仰生活が完成されていくと言う自覚を養成すべき。
 - 自覚を育てていく方法
 - グループでの話し合い、勉強会、研究会
 - 一人一人が、各一役運動で奉仕に参加
 - リーダーの養成(司会者・奉仕者、教会学校や結婚講座のリーダー)
- 優先課題「青少年司牧」について
 - '97年度の活動報告:「青年のためのリーダーシップを養う研修会」の実施
 - 教区青少年、青年交流誌「ジェネシス」の発行
 - 日韓学生交流会
 - 横浜カトリック学生連盟の活動の支援と指導
 - 全体として、この10年を振り返って
 - 若手司祭が足りない。
 - 青少年との係わりで地区福音宣教委員会との繋がりが持たれず現状把握が難しい。
- 優先課題「アジア第三世界とのかわり」について
 - 差別されている在日外国人の人権を守る為に働く。
 - 会の発足(国際協力委員会、正義と平和協議会、難民定住特別委員会、滞日外国人と連帯する会)
- その他取り組むべき課題
 - 時代の変化から、この10年間での大きな変化は日本で働く外国人とその家族が大変増えていること
 - 滞日外国人(フィリピン、韓国、ブラジル、ペルー、タイ、パキスタン、スリランカ、中国など)
 - 日本人信徒より外国人信徒の方が多き教会もある。
 - 教会の中では誰も外国人ではなく同じキリスト者である。「アジア、第三世界との関わり」から、「世界の人々との関わり」と言う名称に変更する。
 - 神から委ねられたこの地球をより良いものにする為生活の改善、社会への働きかけを行っていく。
 - 問題意識をもって積極的に取り組むこと。
 - 教会で環境担当者をつくり、目標を具体化して毎年一回環境集會等を実施する。
 - 三年後に活動の報告と評価を行う。
 - 各地区、小教区の担当者が他地域の状況把握や、具体的活動を行う為環境委員会の設置が望まれる。
 - 高齢化社会問題
 - 政治的無関心をどのように解決していくか
 - 若者たちの主体性を大事にすべき
 - マスメディアの利用による広報活動の充実化
 - 中高生の親の養成の必要性。

第7回 湘南短期キリスト教セミナー

愛と心の幸せを求めて

'98 11月21日(土)・28日(土)・12月5日(土) 15:00~17:00 【場所】カトリック大船教会
参加費...1,000円(全3回セミナーに参加できます) 申し込み締切日...11月14日(土)当日申し込み可

お問い合わせ、申し込みは下記主催の教会にお気軽に連絡ください。
大船教会 Tel. 0467-46-2582 片瀬教会 Tel. 0466-22-4646
中和田教会 Tel. 045-803-6141 藤沢教会 Tel. 0466-27-2787
(今年から中和田教会も加わりました。ふるってご参加下さい。)

生きがいさがそう

11月21日(土)【進歩する医学と生命倫理】 竹内 正也(日本カトリック医師会会長)	1924年東京生まれ。'50年東北大学医学部卒業。学生時代には東北カトリック青年会連盟創設。'83年全国公私病院連盟副会長。聖ヨゼフ病院(横須賀)等で院長を30年務める。中国の医療発展にも貢献。黒竜江省の「荣誉公民」の称号を持つ。信徒宣教者会運営委員として、アジア問題にも取り組む。今年5月より現職。
11月28日(土)【二十一世紀への祈り】 ～小さな踏石のひとつとして～ 遠藤 順子(故遠藤周作氏夫人)	1927年東京生まれ。'55年作家遠藤周作氏と結婚。'56年3月慶応義塾大学仏文科卒業。翌年長男龍之介氏出産。同年受洗。'96年9月周作氏永眠。その後「夫・遠藤周作を語る」「夫の宿題」出版。現在は「遠藤周作記念館」(長崎)設立準備等で多忙。
12月5日(土)【イエスと現代日本人】 ～今日、神を信じることの意義～ 岩島 忠彦(イエズス会司祭 上智大学神学部教授)	1943年姫路生まれ。'64年イエズス会入会。'71年上智大学文学部哲学科修士卒業後、'72~'82年フランクフルト、ローマ、ミュンスターで神学を研究し博士号取得。'76年神戸で司祭階。現在上智大学神学部学部長。イグナチオ教会での「キリスト教入門講座」が人気。著書に「キリストの教会を問う」「いのちへの招き」「キリスト教についての21章」等。

ミサ 当番表 (98年10、11月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
10/4	年間第二十七主日	橋	森田	11/1	諸聖人の日	清水	森田
10/11	年間第二十八主日	青年会	大宮	11/8	年間第三十二主日	青年会	大宮
10/18	年間第二十九主日	婦人会B地区	岩淵	11/15	年間第三十三主日	婦人会C地区	岩淵
10/25	年間第三十主日	山田	美底	11/22	王であるキリスト	小谷	美底
				11/29	待降節第一主日	婦人会C地区	森田

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel. 802-6258)